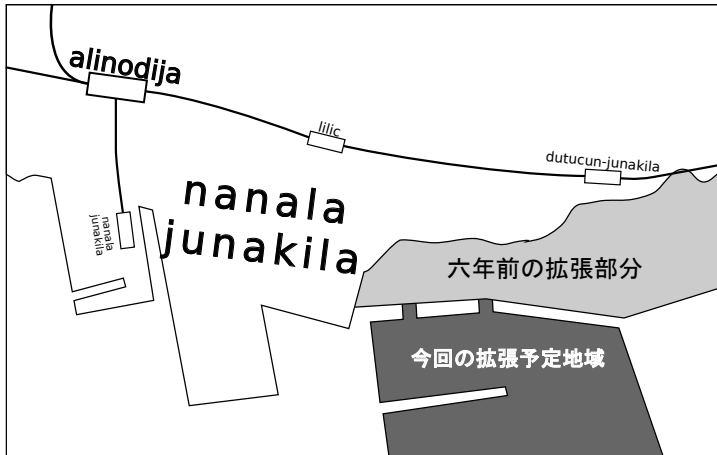


ナナラ港 再び拡張へ



ナナラ港の拡張予定図（交通省作成）

ナナラには非常に大きな港がある。毎日多くの荷物がこの港に到着し、またこの港からパンや芋といった多くの食物が他国へと輸出されている。これらの食物はシェブ・オキヤウから鉄道で運ばれ、船に積まれヴェフィスやリナエストへ向かう。交通省はこの港に二度目の拡張工事を行おうとしている。交通省は「鉄道を用いて多くの人がイヌセナからアリノディヤへ向かう。しかしこの路線は貨物

輸送の需要も高いため、港の拡張を行う。これによって貨物輸送の海路への分散が促され、列車ダイヤの過密さが解消できると期待される」と言う。経済省も「新たな労働需要が生まれることで、国や地域の経済が活性化するだろう」としてこれに賛成している。

しかし、すべての人々がこれに賛成しているというわけではない。タウポ科学大学のダウ・ディツェン教授は次の

ように批判する。「ナナラ港の周辺には魚の生息数も多く、漁港としての役割も果たしている。六年前にもナナラ港の拡張工事が行われたが、その際には水揚げ量（捕まえた魚の量）が大きく悪化したことで魚の市場価格が高騰し、アイルの食卓に欠かせない魚醤などの加工食品が入手困難になった。再び工事を行えば当時の二の舞になることが予想されているが、政府の計画にこうした事態への対策はない」

本紙も独自に都市における住民に対する意見調査を行った。198人に質問を行ったところ、182人が賛成、6人が反対であった。9人は意見を持たなかった。首都であるマカティでも調査を行ったところ、455人のうち、211人が賛成、41人が反対、95人が意見を持たなかった。世論を無視して工事を行うことは許されることではない。より議論

を重ねて適切な施策がとられることが望まれる。

経済省は工事を来月に始めたいとしている。半年後から開催されるペメセペ連邦全国競技会を見据えてのことである。経済省内部では「工事が完了すれば往来する人は三倍に、往来する物資の金額は五倍になる」という予測もある。しかし、交通省は「工事に必要な人員と物資が十分でない」として工事は来年になるものとして調整しているようだ。

工事がいつから開始されることになるかの見通しは現状ではまだ不透明だ。しかし完成までの期間は、前回の工事と建設の規模を考慮すると、工事開始から二年程度になるものと見られる。

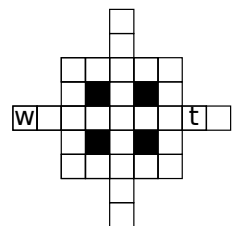
アイル車 リナエストへの 輸出額減少 政情悪化で

近年、リナエストの情勢は危険になりつつあり、人々の将来への見通しも暗くなっている。このためリナエストでは国民の経済消費が落ち込んでおり、貿易にも悪影響が出ている。アイルの自動車メーカーであるウォムカ社は「先月のアイル車の売り上げは前月の半分ほどになっている。大変なことだ。アイル政府の介入によるリナエスト情勢の好転が必要なのではないか」と焦りをにじませる。

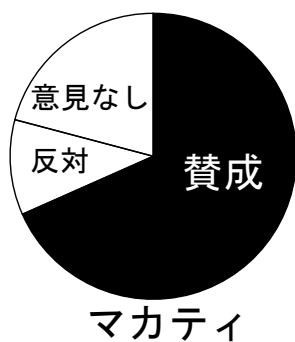
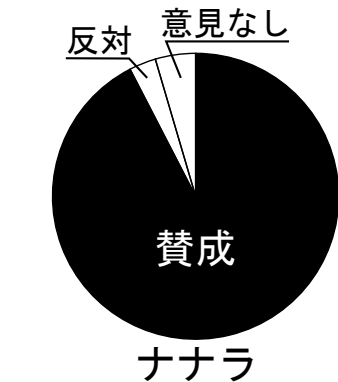
ウォムカはタウポやカウナに多くの工場を持ち約九万人の従業員が働いている。これらの工場は地域の経済にも大きな役割を果たしている。鉄鉱石を輸入し、車を作り輸出する。これはアイルの自動車メーカーにおける一般的な経営方法であり、輸出した車が売れなければ工場や従業員の数を減らさざるを得ない。しかしこれは従業員のみならず

地域の経済にも大きな悪影響を及ぼす。メーカー各社はリナエスト以外の輸出先や国内に新たな販路を拓くことを模索するなど、従業員の暮らしを守る戦略を取ることが望まれている。

ことばあそび
図に適切な語を書き入れよう



- 多くの人がいて線を作る。
- これが終わると秋が来る。
- 仕事すると得られるもの。
- リバーシェを使う言語。
- 楽しい人のこと。



以下は広告欄です。

これを食べて健康になろう

一日一つ食べるだけ！
タウポ科学大学の研究員がオススメ
「これは素晴らしい！」初回限定 **100t**

アリト芋

この食品には、すでに健康な人の健康を増進する効果はありません。
初回以降は500t、購入を中止する際は800tを支払っていただきます。

来たれ！
まだ見ぬゲーム
まだ見ぬルール
を作らんと欲する者！

レシェール
言語教室

正しく話す
東島通商語

算術を学ぶことは
経済の光となる

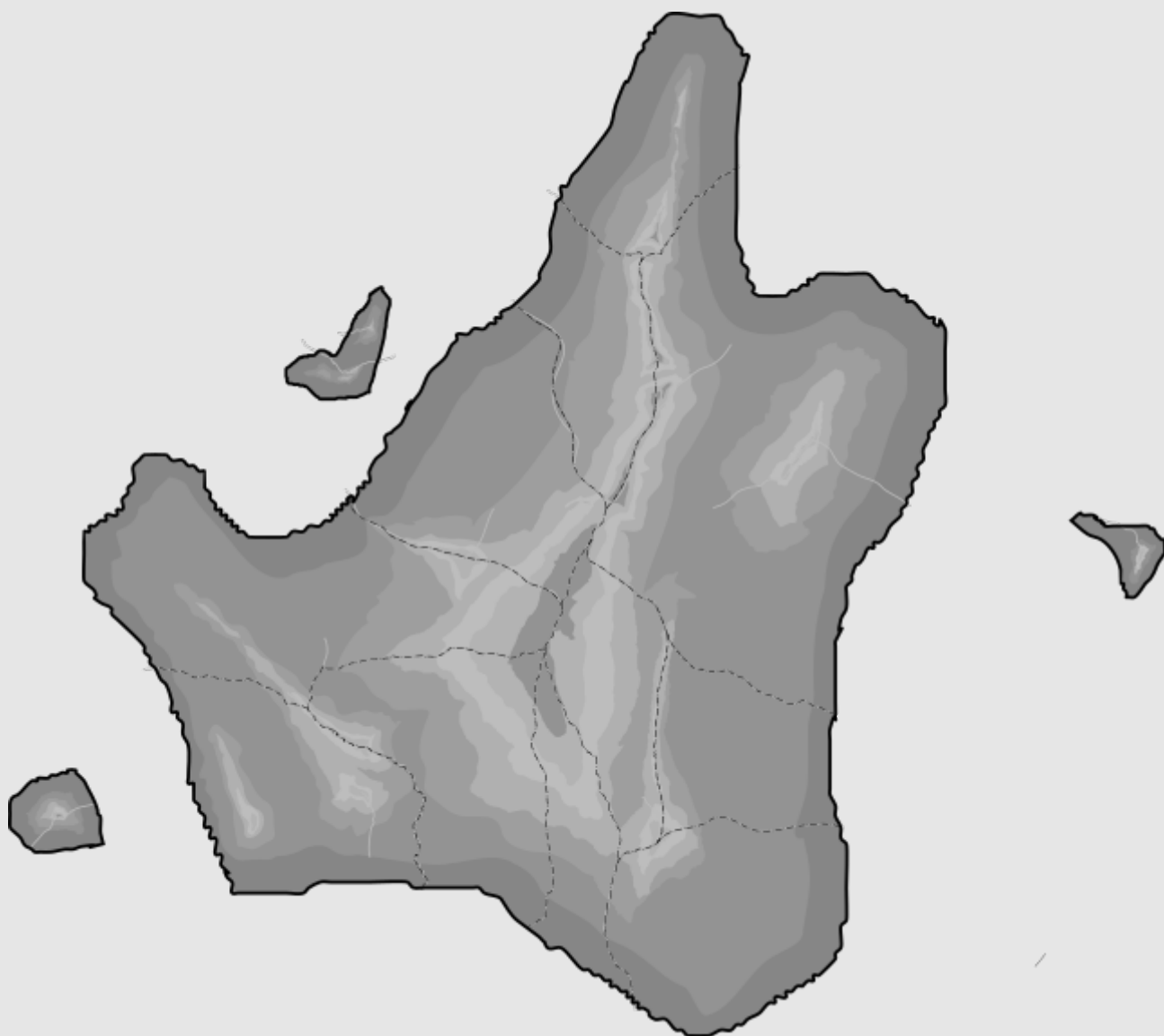
カジカ・ヌワピユ著

数を数える

2012年11月6日



考えよう 私たちの くに



アイル文化省・経済省・交通省